

# まちの日記帳



## 芸術に触れリフレッシュ！

5/25

今年第2回目のリフレッシュ学級で札幌小樽方面への研修旅行が行われました。

天候にも恵まれた今回は、この研修を楽しみにしていた21人の学級員の方々が参加し、札幌市の北海道立近代美術館や小樽市の金融資料館（日本銀行旧小樽支店）を見学しました。うららかな春の陽気の中、参加者は展示された美術作品や歴史的建造物に感銘するなど、有意義な研修旅行となりました。



## 美川憲一さんと誓い！

5/30

「神威岬」が好評販売中の歌手 美川憲一さんがこのたび札幌公演で来道しました。

美川さんの多忙なスケジュールの合間をぬって、益子町長が面談することができ、「神威岬」ヒットのお祝いと当町のPRを行いました。また美川さんからは、全国で「神威岬」の盛況さが伝えられるなど、短い時間でしたが、お話することができました。最後に町長から「ぜひ一度、積丹町を訪れ神威岬に。」とお願いしました。



## 広々とした牧場でのびのびと！

6/8

町営牧場での放牧が始まり、現在親牛38頭、子牛82頭の合わせて120頭が放牧されています。

冬の間、狭い牛舎で窮屈そうにしていた牛たちは広々とした牧場に解き放たれ、のんびりと牧草を食べながら快適な毎日を過ごしています。

この放牧は、11月上旬ごろまで続けられる予定で、秋には大きく育った牛たちに成長していることでしょう。



## 今年の「良い歯」の方々は144名!

6/13

「積丹町子どもの歯を守る会」(尾立光会長)の主催により「第19回よい歯の子・第16回8020表彰式」が総合文化センターで行われました。

今回表彰されたのは、幼児29人、小学生80人、中学生30人の合わせて139人。そのうち、健全歯(1本の虫歯もない子)は37人でした。

また、8020(80歳以上で20本以上自分の歯を持っている人)表彰式では、今年度5人の方々が表彰されました。



## 陶器づくりにチャレンジ!

6/14・6/15

第1回町民文化教室(陶芸教室)が総合文化センターで行われ、参加した10人は陶器づくりにチャレンジしました。

参加者は、荻野正講師(野塚町)の指導のもと、粘土をこね、手びねりや電動ロクロで形を整え、好みの柄をつけるなど、苦戦しながらも丁寧に取り組み、皿や茶碗など思い思いの作品づくりに励んでいました。

なお、完成した作品は文化祭作品展示会で出品される予定です。



## 親子で楽しくクッキング!

6/18

町教育委員会主催の第1回親子ふれあい塾が総合文化センターで行われ、親子いっしょに出来るお菓子づくりに挑戦しました。

講師に町食生活改善推進委員会(越谷玲子会長)の会員を迎え、4組の親子12人が「いちごのプラマンジェ」「蒸しパン」の健康にも配慮した2種類のお菓子を親子でつくりました。

子ども達は、自分で切ったり、練ったりと慣れない手つきで悪戦苦闘しながらも、普段なかなか出来ない親子でのお菓子づくりを楽しんでいました。

